

履修について

正科生1年次入学生・2年次編入学生

開設科目の分類

本学の卒業に必要な科目は、全学共通科目と専門教育科目に大別され、全学共通科目は、児童学科、心理学科、社会福祉学科、文学科の各学科に共通した科目群として設けられています。

専門教育科目については、それぞれの学科、コースにより、教育課程に示された履修年次に従って履修を進めていきますが、全学共通科目の卒業所要単位数と合わせて、計124単位になるようにすることが必要となります。また、この卒業所要単位数124単位のうち、**30単位以上は、面接授業（実習による科目を含む）を受講して修得することが必要となります。**2年次編入学生の場合、個別認定の単位数によって履修単位が異なりますが、**23単位以上は、面接授業（実習による科目を含む）を受講して修得することが必要となります。**

履修登録について

入学時にみなさんに卒業までに学習をする科目について履修登録を行っていただきます。その際、履修上限単位数は134単位（卒業単位に含まれないものは除く）とし、それを上回る分に関しては別途1単位1,000円の登録料が発生します（科目等履修生の詳細は「履修と学習の手引」参照）。しかし、免許・資格を取得するために上限単位以上の履修が必要な場合は、必要単位数までを無料とし、それを超えた分に対し登録料が発生します。

心理学科の教育課程について

卒業所要単位数は、学則により次のように定められております。

(1) 全学共通科目 26単位

(2) 専門教育科目 必修科目および選択科目合わせて98単位以上 総合計124単位以上

(うち30単位以上を面接授業で修得することが必要です。ただし、2年次編入生は認定単位を除き23単位以上が必要です。)

●卒業所要単位数

全学共通科目	専門教育科目		計
	必修科目	選択科目	
26	51	47	124

履修については、教育課程表により、配当された年次に従って履修してください。

特に、教育課程表の〈注〉の部分には十分注意してください。

心理学科教育課程表

(1) 4月生は4月1日～3月31日を、10月生は10月1日～9月30日を1年間として取扱います。

(2) 各授業科目について、教育課程表に履修年次が示されておりますが、履修年次の変更が生じる場合がありますので、ご了承ください。

●全学共通科目（心理学科）

授 業 科 目	単位数		履修年次	教 免	備 考
	通信	面接			
言語と文化Ⅰ	2		1		全科目必修
言語と文化Ⅱ	2		1		
日本国憲法	2		1	○	
自然と数理Ⅰ	2		1		
自然と数理Ⅱ	2		1		
女性と子どもⅠ	2		1		
女性と子どもⅡ	2		1		
生活の科学Ⅰ	2		1		
生活の科学Ⅱ	2		1		
英語		2	2	○	
体育講義	1		1	○	
体育実技		1	1	○	
情報活用		2	2	○	
聖徳教育		2	1		
計	19	7			

〈注〉(1) 心理学科共通科目は全科目26単位必修です。

(2) 高等学校(公民)の教員免許状を取得する方は、「教免」欄に○印を付された科目8単位を含めて履修してください。

●心理学科 臨床心理コース／家族心理コース／社会心理コース専門教育科目（2013年度以降入学生）

＜取得免許・資格：高等学校教諭一種（公民）／認定心理士／図書館司書／学芸員／心理相談員／応用心理士（基礎資格）／児童福祉司（要実務1年）／児童指導員／心理判定員・児童心理司＞

区分	授業科目		単位数		履修 年次	臨床心理 コース	家族心理 コース	社会心理 コース	高一 公民	認定 心理士	備 考
			通信	面接							
専 門 教 育 科 目	学部 共通 科目	選択科目	法学	2	2				○		<p>〈卒業要件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必修科目51単位と学部共通科目、選択科目よりコース必修科目を含み47単位以上選択必修 計98単位以上必修です。 <p>〈免許・資格の取得について〉</p> <p>卒業要件に加えて</p> <p>(1)高等学校教諭一種免許状（公民）を取得するためには、高一公民欄に○印を付されたすべての科目が必修です。</p> <p>※教員免許状取得のためには、[教職専門科目]の教職専門科目も併せて履修してください。なお、教職専門科目は卒業所要単位数に算入することはできません。</p> <p>(2)認定心理士の申請資格を取得するためには、認定心理士欄に○印を付されたすべての科目が必修です。</p> <p>(3)図書館司書・学芸員資格を取得するためには卒業要件に加えて[図書館司書／学芸員資格科目]の科目を履修してください。なお、図書館司書・学芸員資格科目は卒業所要単位数に算入することはできません。</p> <p>(4)心理相談員は本学卒業後に心理相談専門研修を受講することで取得できます。（心理学科を卒業が要件、指定受講科目なし）</p> <p>(5)応用心理士は心理学科卒業後、日本応用心理学会の会員となり、入会后満2年が経過すること、応用心理学の専門職としての資質があると認められた人に認定されます。（基礎資格は心理学科を卒業が要件、指定受講科目なし）</p> <p>(6)児童福祉司は、心理学科を卒業し、厚生労働省令で定める施設において1年以上児童その他の者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務に従事することで、任用資格要件を取得することができます。（心理学科を卒業が要件、指定受講科目なし）</p> <p>(7)児童指導員は、心理学科を卒業することで任用資格要件を取得することができます。（心理学科を卒業が要件、指定受講科目なし）</p> <p>(8)心理判定員・児童心理司は、心理学科を卒業することで任用資格要件を取得することができます。（心理学科を卒業が要件、指定受講科目なし）</p>
		社会学	2	2							
		生命倫理	4	3							
	必 修 科 目	心理学概論	4	1	○	○	○	○	○		
		発達心理学Ⅰ（幼児・学童）	1	1	○	○	○	○	○		
		発達心理学Ⅱ（青年～老年）	2	1	○	○	○		○		
		教育心理学	2	2	○	○	○	○	○		
		心理学史	4	4	○	○	○				
		社会心理学	2	2	○	○	○	○	○		
		学習心理学	2	2	○	○	○	○	○		
		人格心理学	2	2	○	○	○	○			
		心理学研究法	4	3	○	○	○	○	○		
		基礎心理統計法	2	1	○	○	○		○		
		応用心理統計法		2	○	○	○		○		
		心理学基礎実験（初級）		1	○	○	○		○		
		心理学基礎実験（中級）		1	○	○	○		○		
		心理検査理論	1	3	○	○	○		○		
		心理検査実習Ⅰ		1	○	○	○		○		
		臨床心理学	2	2	○	○	○	○	○		
		認知心理学	2	2	○	○	○		○		
	精神医学	3	1	○	○	○					
	心理検査実習Ⅱ		1	○	○	○		○			
	選 択 科 目	ポジティブ心理学	2	2	○		○				
		神経心理学	4	4							
		感覚・知覚心理学	1	1							
		記憶心理学	1	1							
		医学一般	3	1		○					
		ストレス心理学	2	2	○		○				
		病院臨床心理学	4	4	○		○				
		家族心理学	2	2	○	○					
		学校臨床心理学	4	4	○	○					
		犯罪心理学	4	4			○				
		言語心理学	4	2		○					
		老年心理学	2	2	○	○					
		障害児心理学	2	2	○			○			
		産業組織心理学	4	3			○				
		人間関係論	4	3			○				
		心理療法	4	2		○					
		西洋文化の源流	4	4	○						
		比較文化	4	4							
日本文学の特性			2	3							
日本の宗教と文化		2	4								
民俗学	1	1	3								
卒業研究		4	4								
社会と制度Ⅰ		2	2			○	○				
社会と制度Ⅱ		2	2			○	○				
計		97	42		77	77	77	36	39		

	全学共通科目	必修科目	専門科目 選択科目	教職専門科目	計
卒業所要単位数	26単位	51単位	48単位		125単位
高等学校教諭一種（公民）	26単位	51単位	48単位	29単位	154単位
認定心理士	26単位	51単位	48単位		125単位

〈注〉教職専門科目の「発達心理学」「教育心理学」「障害児心理学」は、心理学科開設の「発達心理学Ⅱ」「教育心理学」「障害児心理学」の充当が可能です。それ以外の教職専門科目は、卒業所要単位には算入されません。